

プラズマ・核融合学会誌

第94巻第1号

2018年1月

巻頭言	2018年の年頭にあたり	吉田善章	1
解説	多点ラングミュアプローブによる長距離相関実験	大島慎介, 清水昭博	3
解説	マルチピコ秒相対論的レーザーによるイオン加速の増力	余語覚文, 岩田夏弥	12
研究・開発活動アピール	大型ヘリカル装置 (LHD) 重水素実験 ～先端のかつ総合的な核融合プラズマ学術研究の舞台～	竹入康彦	18
インフォメーション			21
	ITER だより ⁽⁶⁷⁾ 【会議報告】 International Symposium on Fusion Nuclear Technology (ISFNT-13) / 第21回国際ステラ レータ／ヘリオトロンワークショップ (ISHW2017) / 59th Annual Meeting of the American Physical Society of Plasma Physics 【人事公募】		
Plasma & Fusion Calendar			32
本会記事			34
	第15回高校生シンポジウム「プラズマ科学と先端技術」実施報告／第16回高校生シンポジウムへの協力 のお願い／PLASMA Conference 2017 開催報告／PLASMA 2017・第34回年会／若手学会発表賞選考結 果の報告／学会賞候補者の募集について		
編集後記			

表紙の絵

固体密度から高密度プラズマまでの過渡状態における電子速度分布関数を観測するための、高平均出力のCW単一モードレーザーとハードX線プローブを利用した非弾性コンプトン散乱計測の実験システム。高強度レーザー照射により、ターゲット表面は溶融、蒸発していくが、ターゲット本体を回転、移動させることで、レーザーとプラズマ、測定X線を常に一定の状態になるように制御させている。(Hitoki YONEDA and Shigeaki NISHIO, Plasma and Fusion Research, Vol.12, 1301046 (2017) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel:(03)3475-5618 E-mail:info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。